

東亨展
金属のアフオーダンス

六月九日(土) ~ 十七日(日)
会期中無休



料金後納
ゆうメール

東 亨 展 金属のアフォーダンス

二〇一八年六月九日(土)～十七日(日) 会期中無休
作家在廊日 六月九日(土)・十日(日)・十七日(日)

営業時間 十一時～十八時

大阪府堺市の東亨さんは金属造形作家。使う素材の多くは拾ってきた錆びた鉄板やブリキ板。専用の工房は持たず、道端や公園や河原で鍛いて成形しています。完成形はイメージせず、時間を経た金属の意思を探りたいと言います。通常人が何かを造形する際は、素材をコントロールして自分の意思や役割に変換することが目的であり、ある意味で支配的です。しかし東さんの場合、なるべく専門の機械や道具に頼らずに、素材から感じる意思を感じとりながら、その形を導き出そうとします。時間を経た金属に宿った感情と意思。まるで生き物のように、対象物を主体にした視点で捉えています。自然に能動的に立ち向かう西洋的思想に対して、融和的であろうとする東洋的な考えが創作の根底にあるのです。

ひと頃、デザインの世界で話題になったアフォーダンスという言葉。元々アメリカの知覚心理学者ジェームズ・ギブソン(1904-79)による言葉で、環境の意味や価値は認識主体によって加工されるだけでなく、環境からの刺激情報のうちにすでに提供され、固有の形をとっているという思想です。これを俗解するなら、人がモノに対して意味を与えるのではなく、すでにモノに人の行為を引き出そうと提供(アフォード)する機能が備わっているという主客を転じた見方です。東さんは、現在も続けている知的障害者の創作支援をする社会福祉の仕事を通して、人が作りしモノの原点を自主的な知覚からだけでなく、モノ側から人の方が啓発されていることを実体験として感じているのです。金属からアフォードされた意味を造形する作家、東亨さんのお仕事をどうぞご覧ください。 店主

東 亨(あずま・りょう) プロフィール

1988年 三重県生まれ
2011年 大阪芸術大学 金属工芸コース修了
2011~14年 同大学にて助手
2015年~ 社会福祉法人に勤務
2018年 現在、大阪府堺市在住 近隣で製作



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com